

令和2年度採用 教育事務職員採用試験（選考）結果

－最終合格者数 10名 実質倍率 10.2倍－

1. 今年度の傾向

・志願者数及び受験者数

志願者数は122名（昨年度205名）で、受験者数は102名（昨年度167名）であった。

・合格者数、倍率、年齢

合格者は10名（昨年度4名）で、全区分の実質倍率は10.2倍（昨年度41.8倍）であった。合格者の平均年齢は26.4歳（昨年度25.3歳）であった。

・試験改正の影響

教育行政のスペシャリストとなる人材の育成を図るため、教育委員会事務局内における事務職員の活躍の場を拡大することとしており、「学校事務職員」としていた呼称を「教育事務職員」に変更するとともに、受験要件及び受験枠を整理した。

新設した受験枠である「社会人区分」と「障害者特別選考」について、社会人区分では3名が合格した。また、障害者特別選考での合格者は1名であった。

また、社会人区分を設けたことで、年齢上限は29歳から37歳までに拡大したが、その結果、30歳以上での合格者は2名となった。

2. 受験状況

（単位：人）

区分	採用予定者数	志願者数	受験者数	1次筆記合格者数	1次面接合格者数	2次合格者数	実質倍率
大学卒	10	79	64	42	21	6	10.7
短大・高校卒		5	5	1	0	0	—
社会人		35	31	12	7	3	10.3
障害者特別選考		3	2	2	1	1	2.0
合計		122	102	57	29	10	10.2